

感動のオリンピック

りかのひとりごと

2026年3月



と言っても、ほぼフィギュアスケートしか見ていないのですが、魂の演技とも言える「りくりゅう」には感動しました。

そして**鍵山選手**…お父様がコーチをしていらっしゃるのかな…

そのお父様も若い頃、「燻し銀のような演技」で大好きでした。

目立った成績ではなかったと思いますが、誠実なお人柄が滲み出るような演技でした。鍵山選手もそのような演技なので、とても好感がもてます。

そしてエキシビションの最後に、坂本選手とりくりゅうの3人がリンクの

オリンピックマークの氷に触れて、「**ありがとう**」を伝えたシーンも感動的でした。



昔は日本を背負って、必死のパフォーマンスでしたが、今は「**楽しめました**」なんて言葉がインタビューから聞こえてきます。好きなことを心から楽しむために参加するオリンピックとなり、とても幸せな時代になったな～と思います(*_*)

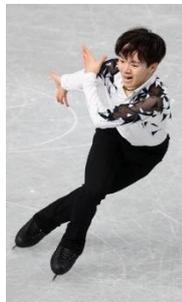
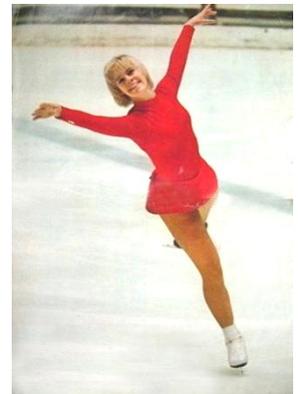
あ～！昔と言えば、「**ジャネット リン**」というかわいい選手も忘れられません。

サラサラの金髪で、ニコニコ笑顔で、尻餅をついてもニコニコ笑顔で、

お茶目にペロッと舌を出していたような記憶があります。

圧倒的な人気者でした。調べたら 72 歳になっておられます。

50 年前、22 歳でのオリンピックでした。





3月最初の週末は楽しく美味しい2日間でした。

土曜日は、以前の職場の同僚5人で集まり、**女子会ランチ**をしました。リーズナブルだけど、豪華な蟹料理でした。久しぶりの再会だったこともあり、嬉しすぎて写真を撮り忘れ、食べてしまいました。スカイツリーのソラマチ 31階のお店でした。



ランチ後、徒歩圏内にあるという方のお家に行きました。

なんと、日本で初めて出来たという「スクランブル交差点」があり、そこを渡ると「鈴木誠也」選手のおじいちゃんが、ご近所さんらしき方と立ち話をしていました。

その晩のWBCの試合では、「鈴木誠也」選手がヒーローインタビューを受けていたので、

「おじいちゃんは、さぞ喜ばれたことでしょうね」とグループラインが回ってきました(*^_^*)



そして日曜日は、高校時代のお友達と、「**麴**」のお店でランチを楽しむことができました。

京成中山駅で降りると、徒歩数分で法華経寺があります。大好きなところですよ。

その参道に出来たお店です。少し境内を散歩して、ついでにその先のパン屋さんでパンを買ってから、入りました。昭和レトロな雰囲気、テーブルが昔の足踏みミシン台でした。

この写真も撮り忘れちゃった(ˉ_ˉ;)

少量だな、と思いましたが、不思議とお腹が満たされました。身体に良い食事！という感じでした。

河津桜 がキレイでした。桜の蕾も膨らんでいました。また満開の頃に行きたいと思います(*^_^*)

